

第 17 回 Re-Seed セミナー

「どうなる！ 2017 年度の日本と不動産市場」

A-3 2017 年の不動産投資市場と更なる成長の方向性

～国内外の投資家の着目点と課題認識～

■ 開催日時：2017.7.14（金）15：00～17：00

■ 講 師：(株)ニッセイ基礎研究所 金融研究部

不動産市場調査室長 竹内 一雅 氏

＜略 歴＞北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了後、野村総合研究所入社。都市計画研究部、関西支社等で、地域産業振興計画の策定や都市開発プロジェクトの実行支援などに携わる。その後、ニッセイ基礎研究所に入社し、現在は不動産の市場分析・投資分析を担当。オフィス賃料指数やオフィス・住宅のコスト分析システムを開発。オフィス市場、住宅市場、商業施設市場、ホテル市場などの市場分析・将来予測とともに、人口動向、管理コスト、投資利回りの分析などを主に行っている。平成 25 年より現職。

主な著書に「【最新】事業用ビルのコスト管理実務資料&コスト算定シミュレーション」（共著、平成 24 年、総合ユニコム）、「不動産ビジネスはますます面白くなる—成熟市場で成長の芽を見いだす」（共著、平成 25 年、日経 BP）、「不動産力を磨く—Q&A で“手ごわい客”になる知識を身につける」（共著、平成 26 年、日経 BP）、「未来がみえた！—10 人のメンバーがみた地域発「チーム力」」（共著、平成 28 年、プレジデント社）。

■ 講座概要：わが国においても不動産証券化はすっかり定着し、とりわけ J-REIT は、同じ物は二つとない個性ある不動産に共通のものさしを導入することにより、不動産投資市場の透明化に大きな功績を果たしました。昨今では、金融緩和がもたらした低金利の環境下、不動産は有望な投資領域として捉えられることが多くなりました。機関投資家による私募 REIT 投資も拡大するなど、かつてのファンドバブル期とは異なった展開を見せています。そこで、このセミナーでは、REIT、不動産ファンド、流入する投資資金など、不動産投資市場をとりまく現状と最新の動向を解説していただくとともに、不動産市場全般の見通しについても俯瞰していただきました。

